

Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13
「世界無形文化遺産フォーラム」
 ～歓び、祈り、大地、歌、踊り～
8月1日(日)開催決定

公益社団法人全日本郷土芸能協会は、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京が主催する Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13 のひとつとして、2021年8月1日(日)に、ヒューリックホール東京において「世界無形文化遺産フォーラム」を開催します。

世界各地に伝承されている芸能は、それぞれの自然環境や生活の中で生まれ、伝えられてきた貴重な特色ある文化遺産です。本フォーラムでは、各国で行ったリサーチを基に世界五大陸それぞれの貴重な無形文化遺産について映像を交えて紹介するとともに、東北復興の願いをこめて国内から東北三県の歌と踊り、そして東京の太鼓を披露します。また、民族芸能等に造詣の深いゲストを迎え、風土に根差した世界無形文化遺産の重要性や魅力について、様々な視点で語っていただきます。

カラフルな装束や迫力あふれるパフォーマンスのご紹介など、世界各地の民族芸能に触れられる希少な機会です。是非お見逃しなく。



* 世界無形文化遺産フェスティバル 2020 から世界無形文化遺産フォーラムへ

「世界無形文化遺産フェスティバル 2020」として、日本初披露の芸能を含む五大陸六ヶ国(インドネシア共和国、エストニア共和国、エチオピア連邦民主共和国、トンガ王国、ブータン王国、ホンジュラス共和国)の芸能を東京に招聘する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により残念ながら中止となりました。今回、各国からの団体が招聘できない中、少しでも皆様にそれぞれの民族芸能のすばらしさをお伝えする機会として、フォーラムを開催いたします。

開催概要

- 日時 : 2021(令和3)年8月1日(日) 14:00~17:00(予定)
- 会場 : ヒューリックホール東京(東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 11F)
- 入場料 : 無料
- 応募方法 : 6月14日(月)より事前申込受付開始(詳細は後日公式WEBサイトにてお知らせします)
- 公式WEBサイト : <https://wfes.jp/wforum/>
- 開催内容 : 「世界無形文化遺産フォーラム」

- 【レポート】古今東西で紡ぎ、つながる“歌と踊り”: 五大陸六ヶ国の芸能(団体名/国名)
 - ・ガヨの伝統舞踊 サマン(サマン・ガヨルエス“ルンギウップ・ランチュン”/インドネシア共和国)
 - ・セト・レーロ セトの多声歌唱(セトの花合唱団/エストニア共和国)
 - ・エチオピアの民族芸能(エチオカラー/エチオピア連邦民主共和国)
 - ・トンガの歌と踊り ラカラカ(トンガ文化芸能団/トンガ王国)
 - ・東ブータンのヤクの踊り(メラ村芸能団/ブータン王国)
 - ・ガリフナ民族の歌と踊り(国立ガリフナ民族舞踊/ホンジュラス共和国)
- 【実演】“大地”に舞う! 若き担い手たち: 東北三県と東京の芸能(団体名/地名)
 - ・^{ぎょうざんりゅうさきざきしおどり}仰山流笹崎鹿踊(仰山流笹崎鹿踊保存会/岩手県大船渡市)
 - ・^{あきう ゆもと}秋保の田植踊(湯元の田植踊保存会/宮城県仙台市)
 - ・じゃんがら念仏踊り(福島県立小名浜海星高等学校チーム「じゃんがら」/福島県いわき市)
 - ・東京の太鼓(大江戸助六太鼓、東京ろう者和太鼓倶楽部鼓友会/東京都)
- 【トークセッション】ゲストによるトーク(タイトル未定)
 - ・ゲスト:
 - デーモン^{かつか}閣下(アーティスト)
ロックバンドの姿を借りる悪魔集団「聖飢魔II」の説法・嘔い方。和の伝統芸能文化に造詣が深い
 - ^{たけうちかなえ}竹内海南江(リポーター・ミステリーハンター)
30年以上にわたりTBS系『世界ふしぎ発見!』のメインリポーターとして活躍中
 - ^{おおいし はじめ}大石 始(ライター)
世界各地の民族音楽や祭り文化を追うライター。旅と祭りの編集プロダクション「B.O.N」主宰
 - ・モデレーター: ^{くぼたひろみち}久保田裕道(東京文化財研究所無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長)

※本事業は、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を徹底した上で、実施いたします。

※新型コロナウイルス感染症の状況により内容等を変更する場合があります。

■【レポート】古今東西で紡ぎ、つながる“歌と踊り”：五大陸六ヶ国の芸能(団体名／国名)

①芸能名:「ガヨの伝統舞踊 サマン」

団体名:サマン・ガヨルエス“ルンギウップ・ランチュン”

国名:インドネシア共和国

芸能紹介:インドネシア・スマトラ島アチェ州の内陸部に住むガヨとよばれる人々の舞踊です。大勢の男性の演者が一列に並び、正座あるいは膝を立てた状態で、隣り合う演者と肩をぴったりとつけて、歌いながら踊ります。



②芸能名:「セト・レーロ セトの多声歌唱」

団体名:セトの花合唱団

国名:エストニア共和国

芸能紹介:セトの人々のアイデンティティーの根幹にあるのが、女性を中心として伝承されてきた多声歌唱セト・レーロです。時には楽器を伴ったり、男性の歌い手が加わったり、また歌に合わせて素朴な身振りで踊ります。



③芸能名:「エチオピアの民族芸能」

団体名:エチオカラー

国名:エチオピア連邦民主共和国

芸能紹介:エチオピア各地を広範に移動して活動する専門の伝統音楽の楽師「アズマリ」や、民族舞踊のダンサーを中心としたグループによるカラフルで力強いパフォーマンスです。



④芸能名:「トンガの歌と踊り ラカラカ」

団体名:トンガ文化芸能団

国名:トンガ王国

芸能紹介:男性が右側、女性が左側に列を作り、男性は力強く素早い動きで踊り、女性は優雅なステップと上品な手の動きで踊ります。また男女とも踊りながら歌い、その歌声は壮大なコーラスとなります。



⑤芸能名:「東ブータンのヤクの踊り」

団体名:メラ村芸能団

国名:ブータン王国

芸能紹介:メラ村には、ヤクを授かる神話を舞踊化した「ヤクの踊り(ヤクチャム)」とチベット王を主人公とした舞踊「アチラモ」、そしてメラの民謡などが伝わっています。



⑥ 芸 能 名:「ガリフナ民族の歌と踊り」

団 体 名:国立ガリフナ民族舞踊団

国 名:ホンジュラス共和国

芸能紹介:ガリフナの村々には、祖先との交流「ドゥグ」、死者への弔い「プンタ」、欲情の踊り「クリオウ」、喜びの踊り「ウング・ウング」女歌「アバイマハニ」、戦いの踊り「ワナラグア」などの歌と踊りが伝わっています。



■【実演】“大地”に舞う！若き担い手たち:東北三県と東京の芸能

⑦ 芸 能 名:「^{ぎょうざんりゅうさきましおどり}仰山流笹崎鹿踊」

団 体 名:仰山流笹崎鹿踊保存会

地 名:岩手県大船渡市

芸能紹介:鹿角を付けた頭を被り、ササラと呼ばれる3m前後の長い^{ごへい}御幣を背負い、太鼓を打ちながら鎮魂や豊穰を願って踊ります。



⑧ 芸 能 名:「^{あきう}秋保の田植踊」

団 体 名:湯元の田植踊保存会

地 名:宮城県仙台市

芸能紹介:小中学生の女子が扮する「^{きおとめ}早乙女」の「田植振り」、男子が扮する「^{やんじゅうろう}弥十郎」、「鈴振り」が、太鼓や笛に合わせ華やかに五穀豊穰を願って踊ります。



⑨ 芸 能 名:「じゃんがら念仏踊り」

団 体 名:福島県立小名浜海星高等学校チーム「じゃんがら」

地 名:福島県いわき市

芸能紹介:お盆に新盆を迎えた家々をまわり、唄をうたい、太鼓や鉦を叩きながら、亡くなった人の霊を慰める供養の踊りです。



⑩ 芸 能 名:「東京の太鼓」

団 体 名:大江戸助六太鼓、東京ろう者和太鼓倶楽部鼓友会

地 名:東京都

芸能紹介:江戸東京の太鼓の混合チームで、粋に華やかに演奏します。



■【トークセッション】ゲストによるトーク(タイトル未定)

・ゲスト

デーモン閣下^{かっか}(アーティスト)

魔暦前 16('83)年バンド姿借用の悪魔集団「聖飢魔Ⅱ」の謡・説法方として現世侵寇。魔暦 11('09)年、世界 22 カ国で『大教典』発布。他方、和の伝統芸との共作活動と朗読を約 36 年間展開中。新『娯楽+芸術』追求の「邦楽維新 Collabo.」は 21 年。三味線/シテ方との「能舞音楽劇『義経記』」(10 年)、上海万博では「文化交流大使」。昨年、聖飢魔Ⅱ・期間限定再集結『特別給付悪魔』全国 30 公演。広島県がん検診啓発特使、早大相撲部特別参与(共に 10 期目)、厚労省“上手な医療のかかり方”大使。



竹内海南江^{なげうちかなえ}(リポーター・ミステリーハンター)

1964 年、群馬県生まれ。30 年以上に渡りTBS系『世界ふしぎ発見!』のメインリポーターとして活躍中。訪れた国は 105 カ国、番組出演回数は 290 回を超える(2021 年現在)。旅を通して得た経験をもとにバッグ、帽子、靴などのプロデュース、TVやCMへの出演、イベントや講演会、エッセイや小説の執筆など活動は多岐に渡る。著書に『アフリカの女』(99 年・幻冬舎文庫)、『おしりのしっぽ～旅する私のふしぎな生活～』(04 年・集英社 be 文庫)、『あっというまに』(16 年・KK ベストセラーズ)など。



大石 始^{おおいし はじめ}(ライター)

世界各地の民族音楽や祭り文化を追うライター。旅と祭りの編集プロダクション「B.O.N」主宰。主な著書に『盆踊りの戦後史』(筑摩選書)、『奥東京人に会いに行く』(晶文社)、『ニッポンのマツリズム』(アルテスパブリッシング)、『ニッポン大音頭時代』(河出書房新社)ほか。連載は「サイゾー」の「マツリ・フューチャリズム」など。現在、屋久島古謡に関する著作を執筆中。



・モデレーター: 久保田裕道^{くぼたひろみち}(東京文化財研究所無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長)

■主催: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

■後援(予定): インドネシア共和国大使館、エストニア共和国大使館、エチオピア連邦民主共和国大使館、トンガ王国大使館、在東京ブータン王国名誉総領事館、ホンジュラス共和国大使館、岩手県、宮城県、福島県

■企画・制作: 公益社団法人全日本郷土芸能協会



公益社団法人全日本郷土芸能協会とは

日本全国各地に伝えられている様々な郷土芸能は、誇るべき大切な文化財です。当協会は、郷土芸能の保存団体および郷土芸能に関心を持つ個人を会員とした、日本で唯一の全国組織です。日本各地に伝承されている郷土芸能の振興と育成を図り、その発展に寄与することを目的として設立。文化庁、自治体等の委託をうけ、海外芸能団の招聘や日本の民俗芸能の海外派遣、その他郷土芸能に関する企画制作や調査等、様々な事業を行っています。 <http://www.jfpaa.jp/>

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは

オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組です。

「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」とは

斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、Tokyo Tokyo FESTIVAL の中核を彩る事業として、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京が実施するものです。国内外から応募のあった2,436件から 選定した13の企画を、「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」と総称し、展開しています。

公式WEBサイト：<https://ttf-koubo.jp/>

取材・掲載に関する問合せ : 世界無形文化遺産フォーラム事務局

公益社団法人全日本郷土芸能協会内(担当: 森下、小岩)

TEL: 03-6804-2660 / FAX: 03-6434-9435 / E-mail: wfes2020@jfpaa.jp